

第5章 舟着地域

5-1 地域の現状：舟着地域

舟着地域は、河川と山々に囲まれた豊かな森林の広がる地域です。中央部には、豊川に注ぐ大入川が流れており、この大入川に沿って、(県) 新城引佐線が縦断しています。本地域には、この県道に沿って集落が分布しており、その周囲には農地が広がっています。

人口は、平成 17 年現在 1,655 人であり、新城市全体の 3.2%と 6 地域の中で最も少なく、平成 12 年から平成 17 年の人口減少率は、6.8%となっています。高齢者割合は 27.6%と高齢化の進行が同え、6 地域の中でも最も高くなっています。

産業は、平成 18 年における事業所数・従業者数が 6 地域で最も少なくなっています。地域内の産業の状況をみると、事業所・従業者数ともに第 2 次産業が多くなっています。

土地利用規制の状況は、全域が市街化調整区域に指定されています。また、地域の北部は桜淵県立自然公園に指定されています。

このように本地域は、良好な自然空間を有する地域となっています。

地域名	人口 (人)			65歳以上人口 (人)		高齢者 (65歳以上) 割合
	H12	H17	増減率	H12	H17	H17
新城	7,417 (13.8%)	7,314 (14.0%)	-1.4%	1,657	1,878	25.7%
千郷	11,104 (20.7%)	11,314 (21.7%)	+1.9%	1,850	2,058	18.2%
東郷	9,932 (18.5%)	9,838 (18.9%)	-0.9%	1,957	2,180	22.2%
舟着	1,775 (3.3%)	1,655 (3.2%)	-6.8%	458	457	27.6%
八名	5,794 (10.8%)	5,609 (10.7%)	-3.2%	1,318	1,383	24.7%
長篠*	2,458 (4.6%)	2,365 (4.5%)	-3.8%	454	479	20.3%
市全体	53,603 (100%)	52,178 (100%)	-2.7%	12,337	13,266	25.4%

() は市全体に対する割合

資料：国勢調査

※ 調査区域の関係上、長篠地域の人口及び 65 歳以上人口の集計には、富栄地区の一部を含んでおりません。

地域名	事業所総数			従業者総数（人）		
		第2次産業	第3次産業		第2次産業	第3次産業
新城	589	60 (10.2%)	527 (89.5%)	4,176	340 (8.1%)	3,831 (91.7%)
千郷	424	119 (28.1%)	302 (71.2%)	5,082	3,017 (59.4%)	2,038 (40.1%)
東郷	383	98 (25.6%)	284 (74.2%)	4,269	2,197 (51.5%)	2,067 (48.4%)
舟着	53	27 (50.9%)	25 (47.2%)	422	345 (81.8%)	72 (17.1%)
八名	210	80 (38.1%)	129 (61.4%)	2,523	1,810 (71.7%)	685 (27.2%)
長篠	142	31 (21.8%)	111 (78.2%)	1,409	595 (42.2%)	814 (57.8%)
市全体	2,483	598 (24.1%)	1,862 (75.0%)	22,001	9,770 (44.4%)	12,047 (54.8%)

() は各地域内の割合

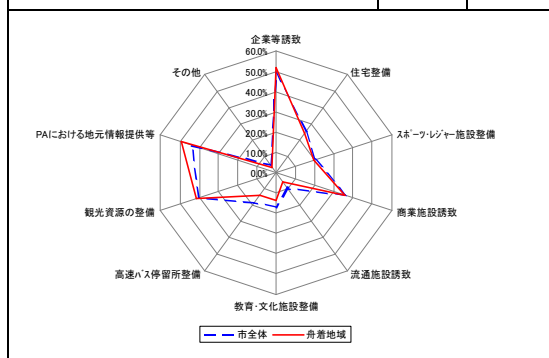
資料：平成18年事業所・企業統計調査

(住民アンケート調査にみられた地域住民の意見)

資料：総合計画のための住民アンケート調査

問：市の活性化のため、新東名高速道路や三遠南信自動車道路（インターチェンジやパーキングエリアを含む）の開通に向けてどのような対策が必要だと思いますか。3つまで○印をつけてください。

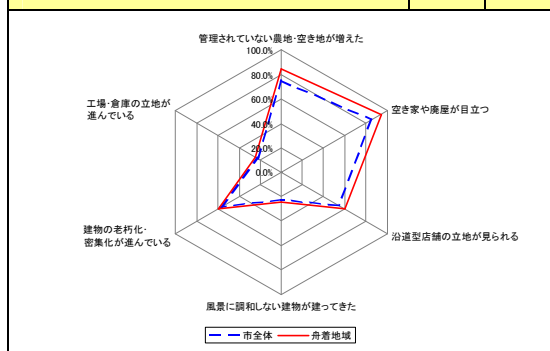
区 分	選択率	
	舟着	市
企業・事業所の誘致や用地整備	51.7%	48.8%
住宅施設や住宅用地の整備	24.1%	25.1%
スポーツ、レジャー施設の整備	19.5%	19.7%
大型ショッピングセンターなどの商業施設の誘致	35.6%	36.0%
トラック・ミナルなどの流通施設の誘致	5.7%	10.0%
学校など教育・文化施設の整備	13.8%	17.1%
高速バスの停留所整備	13.8%	18.2%
観光資源の整備、観光資源のルート化、連絡道の整備	41.4%	40.2%
パーキングエリアにおける地元の情報の提供や特産品の販売の促進	49.4%	43.5%
その他	3.4%	4.6%



◎観光資源などの地元資源を活用した、観光産業の活性化が望まれている。
◎企業・事務所などの誘致による産業の活性化が望まれている。

問：お住まいの地域だけでなく、市内全体の土地と建物の現状についてお答えください。あてはまるものに1つだけ○印をつけてください。（そう思う・少しそう思う・あまりそう思わない・思わないの4つより1つ選択）

区 分	そう思う・少しそう思うの合計割合	
	舟着	市
管理されていない農地や空き地が増えた	84.1%	75.1%
商店を含めて、空き家や廃屋が目立ってきた	93.7%	85.2%
幹線道路沿道などで郊外型店舗の立地が見られるようになってきた	59.7%	54.1%
奇抜な色・形の建物など、周辺の風景に調和しない建物が建ってきた	24.3%	22.4%
建物の老朽化や密集化が進んでいる（災害発生時に倒壊、延焼拡大などが考えられる）	58.9%	57.4%
工場や倉庫などの立地が進んでいる（騒音や交通量などの住環境への影響が考えられる）	24.3%	22.0%



◎すべての項目で、市全体よりも高いが、特に管理されていない農地や建物の老朽化などの衰退傾向が感じられている。

※表中黄色着色部：市全体平均値より回答が多かった項目。

5-2 まちづくりの課題：舟着地域

市全体の現状を踏まえた上での本地域における問題点や市民アンケートにおける本地域の住民の意見を考慮し、本地域の課題を以下のように設定します。

(1) 土地利用の課題

- 全域が市街化調整区域であり、森林や農地などの豊かな自然環境を守り、無秩序な市街化の抑制が必要です。
- 人口減少などの地域の衰退に歯止めをかけ、地域の活力を促進するため、計画的な土地利用の検討が必要です。

(2) 都市施設の課題

- 高齢化率の高い本地域においては、すべての人にやさしい基盤整備が必要です。
- 周辺地域との連携、交流を促進し、利便性の高い生活環境を形成するため、地形的な分断要素となる豊川への架橋など広域ネットワークの整備が必要です。
- 集落周辺に広がる農地や自然環境と調和した快適でゆとりある住環境の形成が必要です。

(3) 地域資源の課題

- 豊川や大入川などの水辺環境の保全が必要です。
- 豊川沿岸に広がる桜淵県立自然公園内の既存集落については、自然と調和した生活環境の形成が必要です。
- 豊かな森林は、積極的に保全し活用を図るとともに、森林を育成し次世代へ受け継ぐ必要があります。

(4) 都市防災の課題

- 老朽化した建物などが集落内に見られるため、地域住民が安全で安心して暮らすことのできる災害に強い地域づくりが必要です。
- 土砂災害等の自然災害への対策を強化し、自然と共生した生活空間の形成が必要です。

5-3 まちづくりの目標：舟着地域

本地域は、水と緑に囲まれた地域であるため、自然と調和したゆとりある定住環境を目指し、「周辺地域との連携強化」、「高齢化の進行と人口減少へ対応した住環境の形成」、「豊かな自然環境の活用」をまちづくりにおける主たる目標として設定します。

周辺地域との連携強化

県道沿いに集落が分布する地域であるため、周辺地域とのネットワークを強化し、地域の一体性のある利便性の高いまちづくりを目指します。

高齢化の進行と人口減少へ対応した住環境の形成

高齢化率が高い本地域においては、市民が安全で安心して生活できる、すべての人にやさしい住みやすいまちづくりを目指します。

豊かな自然環境の活用

本地域の大部分を占める森林や北部の桜淵県立自然公園、豊川などの豊かで身近な自然環境と共生したまちづくりを目指します。



将来像：人と自然が共生するやさしいまち

5-4 まちづくりの方針：舟着地域

<p>土地利用の方針</p>	<p>豊かな自然環境と調和し共生した、生活環境の形成を図ります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●定住化の促進を図るため、定住促進住宅地検討区域内において住宅地の整備の支援を推進します。 ●本地域は、集落周辺に豊かな自然環境や良好な農地が広がっているため、引き続きこれらを保全し、無秩序な開発を積極的に抑制します。 ●土地改良事業により農業基盤の整った優良農地の積極的な保全・活用を図ります。 	
<p>都市施設の整備方針</p>	<p>広域ネットワークを活用した利便性の高い、住環境の整備を進めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●豊川による地域間の分断を解消し、広域ネットワークの形成による利便性の向上を図るため、関係機関と協力し豊川への架橋と八名地域への道路ネットワークの形成を促進します。 ●（県）新城引佐線については、関係機関と協力して鳥原児童館付近の歩道の整備を促進します。 ●（県）豊橋鳳来線については、関係機関と協力して塩沢地区の歩道の整備を促進します。 ●高齢化を踏まえ、すべての人が利用しやすい基盤整備を促進します。 ●汚水処理施設の整備として、合併処理浄化槽の普及・促進に努めます。 ●新城クリーンセンター西側は、効率的な資源の収集・処理に資するため、周囲の自然環境へ配慮しながら、計画的な活用を推進します。 	

自然と歴史の 保全・活用方針	美しい水と豊かな自然を守り、育て、活用した環境の整備を進めます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 豊川や大入川等の水質の改善と美しく清らかな水辺環境の保全に努めます。 ● 地域北部に広がる桜淵県立自然公園の保全に努めます。 ● 本地域全域に広がる豊かな森林を積極的に保全し、維持・育成に努めます。 	
都市防災の方針	自然災害への対策を講じ災害に強いまちづくりをすすめます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 集落内の一般木造住宅や公共施設などの建物については、耐震診断・耐震改修の促進を図ります。 ● 土石流等による土砂災害の恐れのある区域については、対策事業を推進し、安全な住環境の形成を図ります。 	

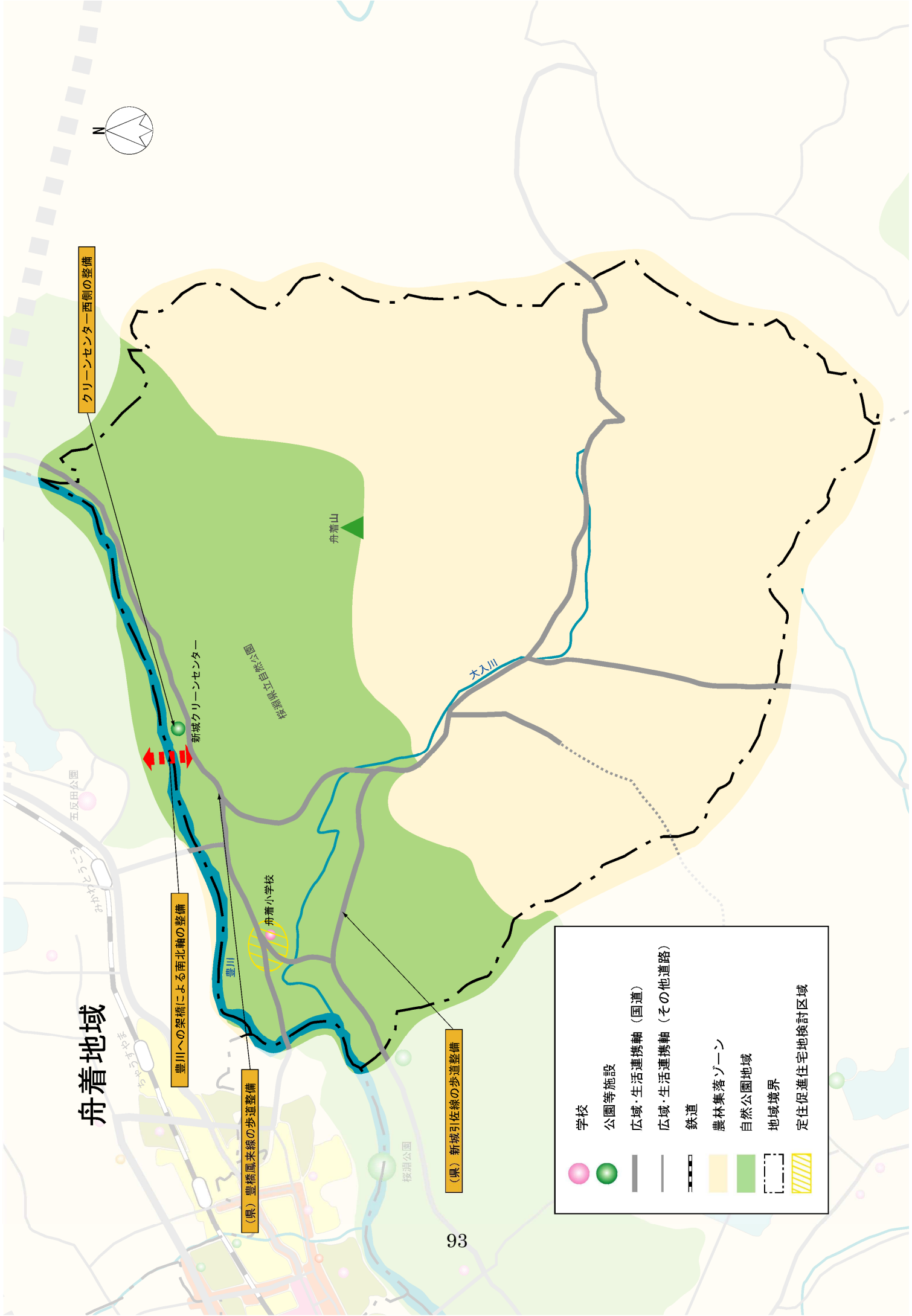
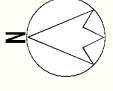
舟着地域

クリーンセンター西側の整備

豊川への架橋による南北軸の整備

(県) 豊橋鳳来線の歩道整備

(県) 新城引佐線の歩道整備



	学校
	公園等施設
	広域・生活連携軸 (国道)
	広域・生活連携軸 (その他道路)
	鉄道
	農林集落ゾーン
	自然公園地域
	地域境界
	定住促進住宅地検討区域